

チリ 最初の種なしマンダリン品種は米国市場を目指す

FreshPlaza 2023年6月7日

イザベリーナ (Isabelina) は、カトリック大学 (UC) 農林工学部の柑橘類遺伝子改良プログラムで開発された新しいマンダリン品種であり、早生で、果実は皮をむきやすく、濃いオレンジ色で、種なしである。

オロヌール品種 (母品種) では1果実当たり平均5つの種子があり、同じ条件下で最大30個の種子があることもあるのに対し、イザベリーナの強制受粉 (ダブルマーコット品種の稔性花粉を用いた手作業による受粉) の場合では、果実当たりの平均種子数は、最大0.5である。このプログラムの研究者であるヨハンナ・マルティス氏は、「これ (0.5) が種子の混入の最大値であることを保証できる。これにより非常に競争力が高く、我々の育種プログラムにとっても大きな成功である」と述べている。

イザベリーナは、農業イノベーション財団 (FIA)、デリプラント種苗会社及びアグリコム社 (輸出会社) が支援する「チリの柑橘類産業の競争力向上のためのマンダリンとレモンの少種子及び種なし新品種の開発」プロジェクトの成果の一部である。

新しい品種は、低温のリスクを冒してでもさらに南の地域で栽培しようとする人々にとっても解決策となる。「気候変動により、我々は水を確保できる新しい産地を探すことを余儀なくされた。この品種は、第6州と第7州の産地での選択肢となる可能性がある。これらは灌漑用水をあてにできる地域であるが、霜のリスクが高い。イザベリーナは早生品種であるため、生産者は降霜の前に収穫することができる。」

米国は、チリの柑橘類輸出の90%以上を占める主な輸出先である。柑橘類の遺伝的改善プログラムは、この高品質の種なし果実でその市場を引き続き征服しようとしている。

「我々の主な動機は、チリ初の種なしクレメンタイン品種を作ることであった。この品種のもう一つの特徴は早生であることで、4月の最後の週に収穫される。このことによって、米国市場により早く送り出し、品質と状態の良い果実でペルーや南アフリカなど他の国の果実と競争することができる。」

出典: redagricola.com

世界のオレンジ果汁価格 ブラジルの収穫期が始まり下落

FreshPlaza 2023年6月7日

オレンジ果汁は、毎日何百万人もの人々によって消費されている主要な商品である。今日消費されているオレンジの多くは、毎年1,600万トン以上のオレンジを生産するブラジルで生産されたものである。中国、米国、インド、メキシコがこれに続く。

オレンジ果汁の価格は、5月に史上最高値の295.82ドルに急騰した後、反落した。最近のデータによると、オレンジ果汁は274ドルで取引されており、今年の最高値から7.5%以上下落している。全体として見ると、オレンジ果汁は、コーヒーと肥育牛に次いで今年3番目に投資パフォーマンスの高い商品となっている。

全体としては、価格は過去10年間で100%以上、過去3年間で120%以上上昇した。この上昇は主に、米国のオレンジ生産量の全体的な減少によるものである。

日足チャートは、オレンジ果汁が296.90ドルでピークに達したことを示している。現在は下落して、4月4日と4月25日につけた最高値で、重要な支持線である287.56ドルを下回っている。相対力指数 (RSI) は買われ過ぎのレベルを下回っている。

出典: invezz.com